

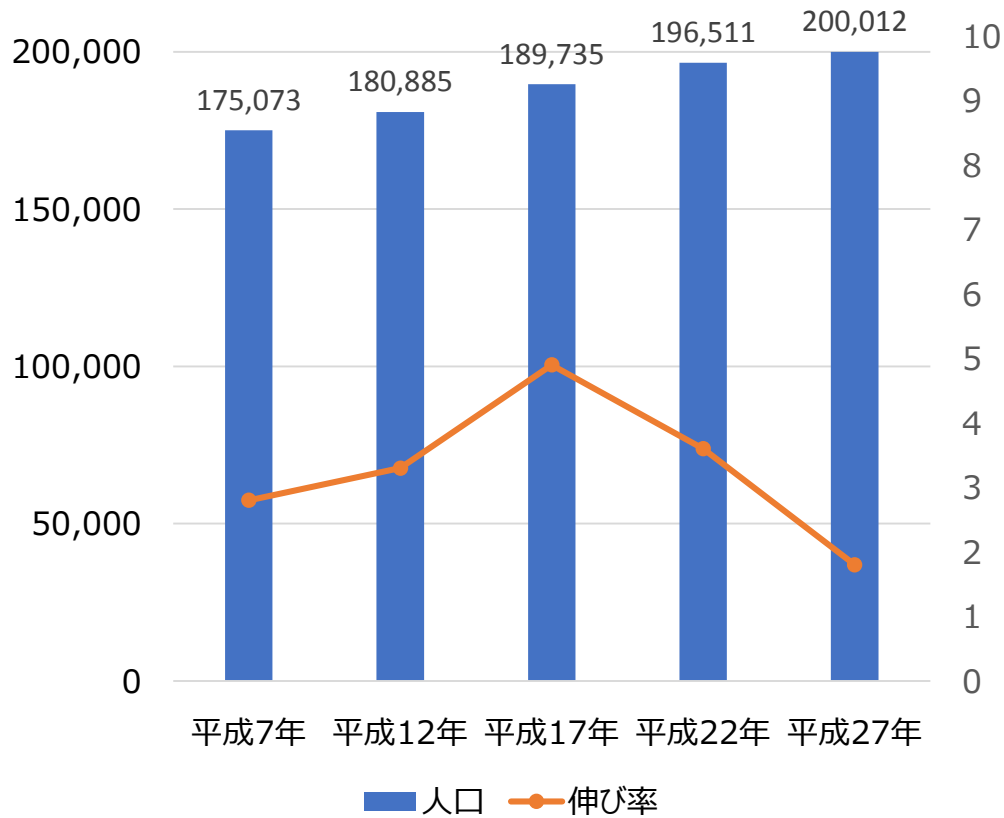
西東京市健康づくり推進プラン後期計画
(健康都市プログラム) 策定に向けた中間報告 (案)

<参考 データ集>

平成29年9月
西東京市健康づくり推進協議会

西東京市人口

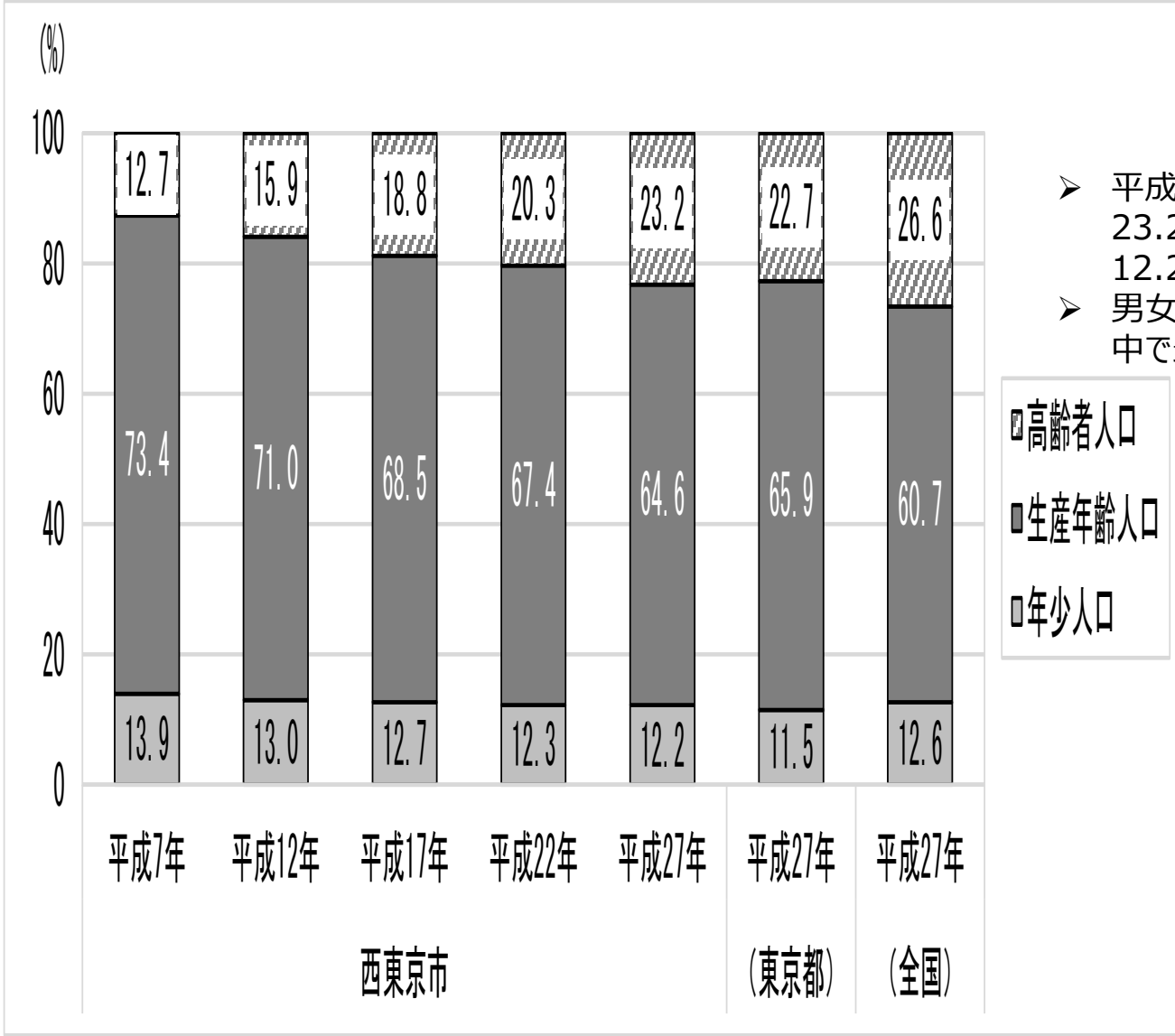
西東京市人口の年次推移と伸び率



- 西東京市の人口は増加傾向
- 人口の伸び率は、平成17年以降、減少傾向

出典：国勢調査（平成12年までの値は、合併前の田無市、保谷市の計）

年齢3区分別人口構成割合の推移

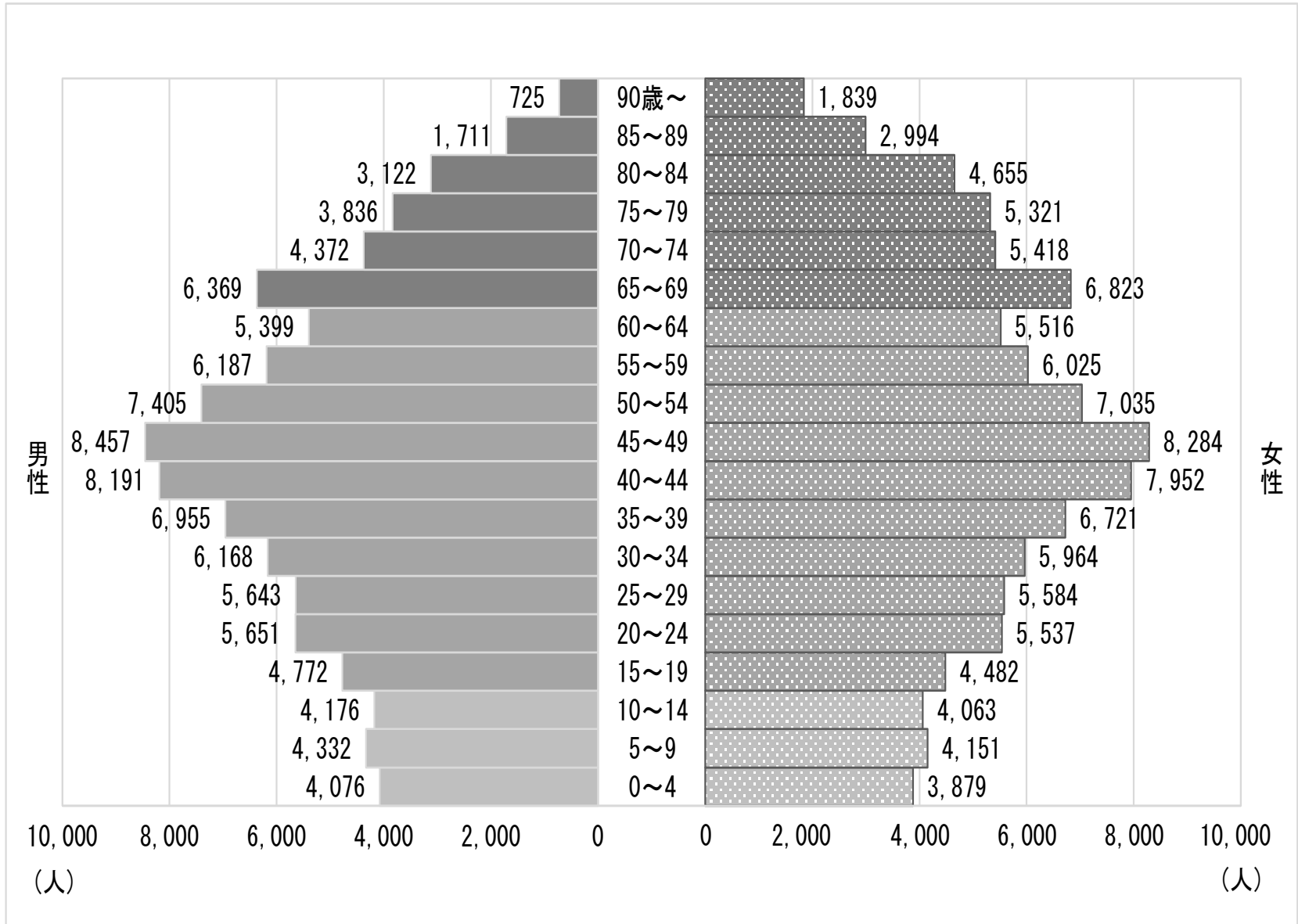


- 平成27年 65歳以上の高齢者人口 23.2% 0歳から14歳までの年少人口 12.2%
- 男女とも45-49歳の年齢群が全世代の中で最多 (平成29年1月1日現在)

高齢者人口
 生産年齢人口
 年少人口

出典：国勢調査（各年10月1日現在）

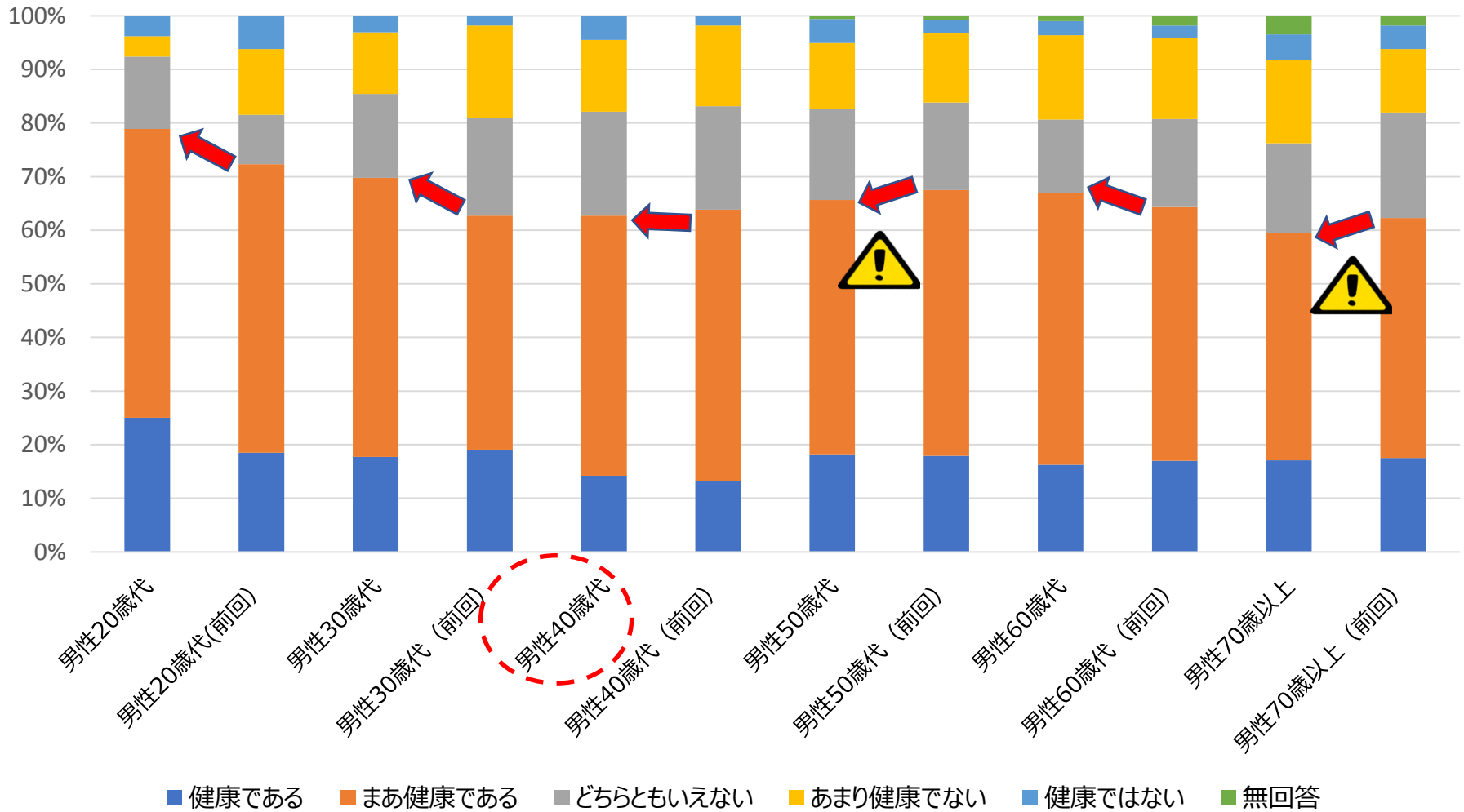
年齢階級別人口構成割合



出典：住民基本台帳及び外国人登録（平成29年1月1日現在）

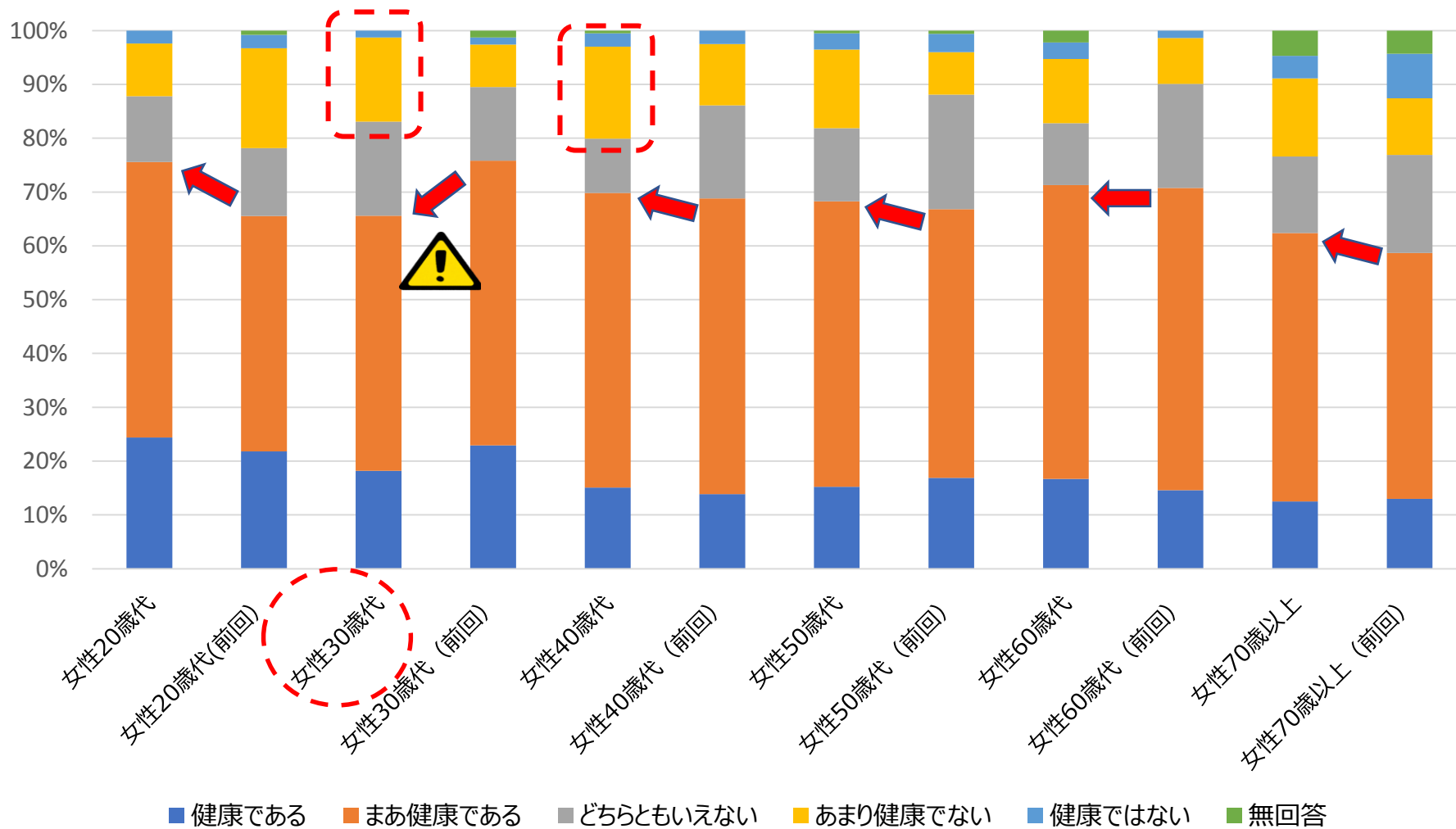
主観的健康感

男性（平成28年調査／平成23年調査）



- 50歳・70歳代（男性）以外は、前回調査より主観的健康感は上昇
- 20歳～60歳代では40歳代男性の健康感が低い。

女性（平成28年調査／平成23年調査）

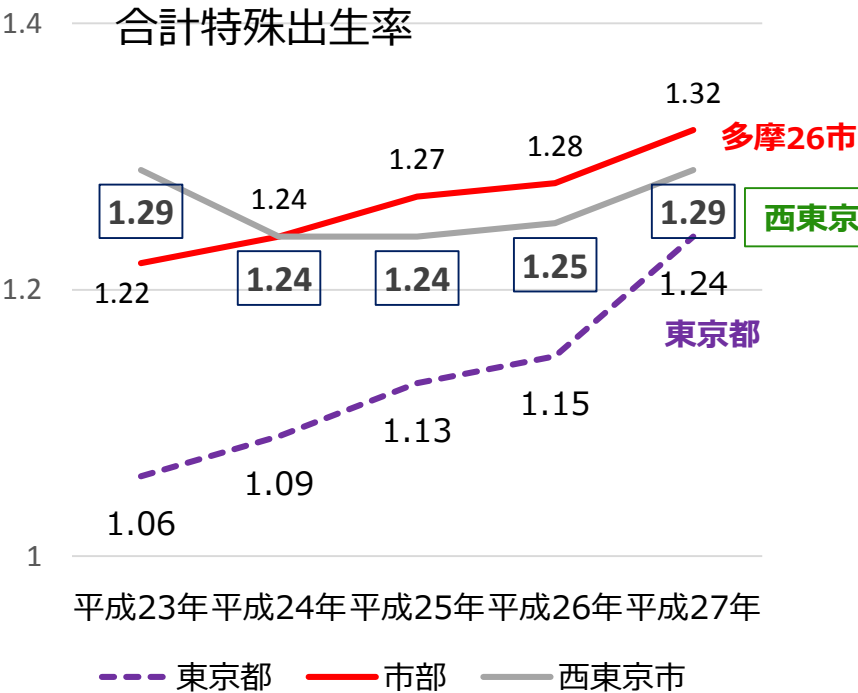


- 30歳代（女性）は、前回調査より主観的健康感が10.2ポイントダウン
- 20歳～60歳代では30歳代女性の健康感が低い。

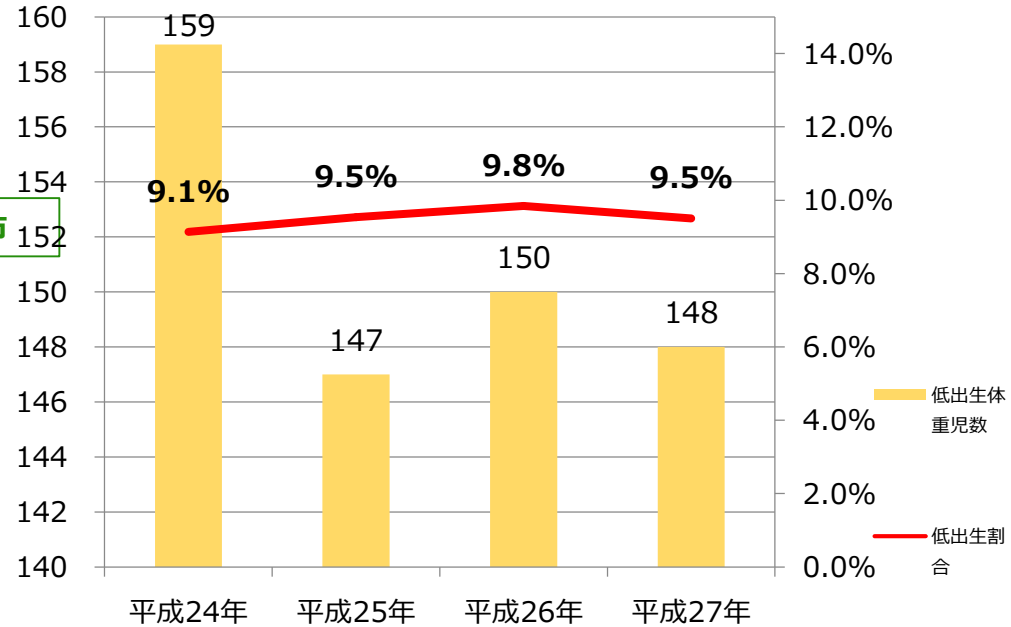


次世代の健康

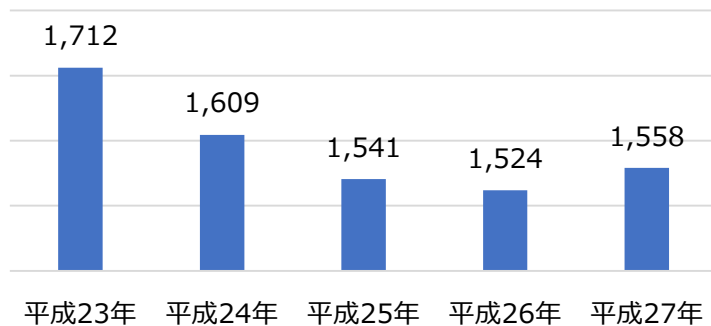
合計特殊出生率



低出生体重児



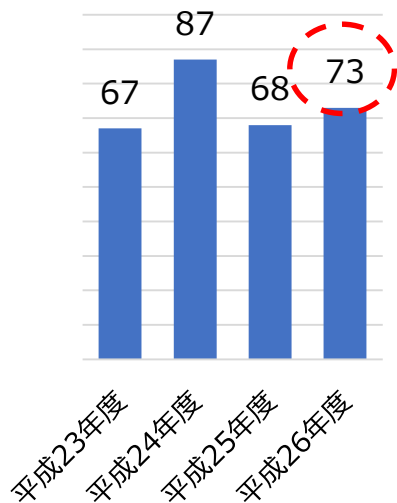
出生数



- 合計特殊出生率は、平成27年 1.29
- 多摩26市平均を下回るが、東京都平均は上回る
- 平成27年 第1位 東大和市「1.67」
- 出生数は、1,500～1,600件で推移
- 出産時の母の年齢 30～34歳 38.8% (平成27年) 35～39歳 27.2%
- 低出生児率は、ほぼ横ばいの傾向

小・中学校 長期欠席者の状況 ※1年間に連続または断続して30日以上欠席

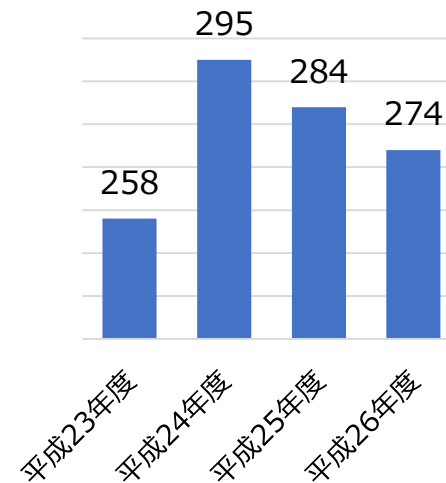
市内小学校



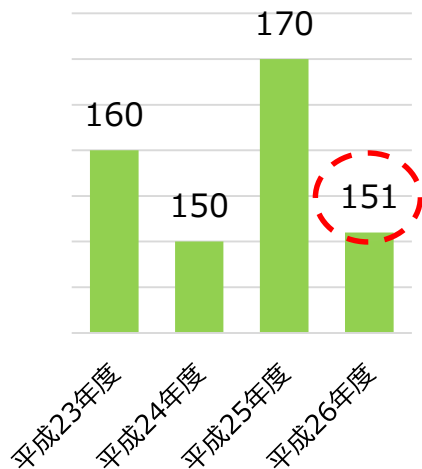
- 平成26年度 長期欠席者73件は、すべて公立小学校
- 欠席理由は、病気3件、不登校50件、その他20件である。

参考 北多摩北部5市

小学校



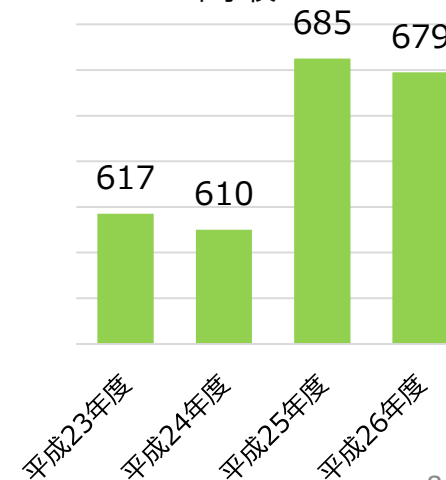
市内中学校



- 平成26年度 長期欠席者151件のうち、138件が公立中学校
- 欠席理由は、病気10件、不登校125件、その他3件である。

参考 北多摩北部5市

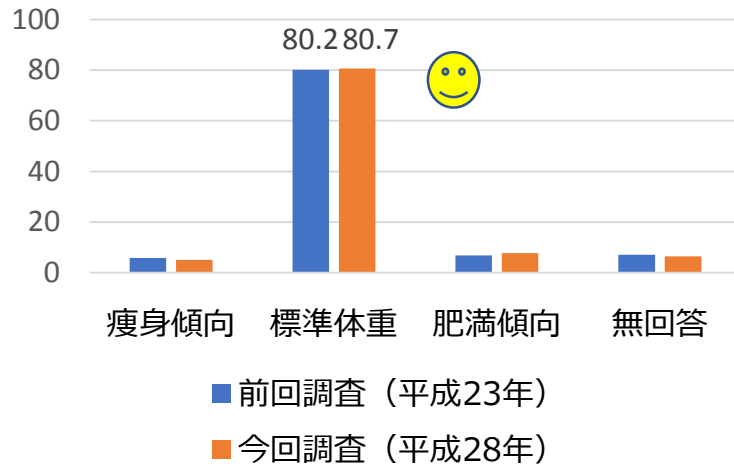
中学校



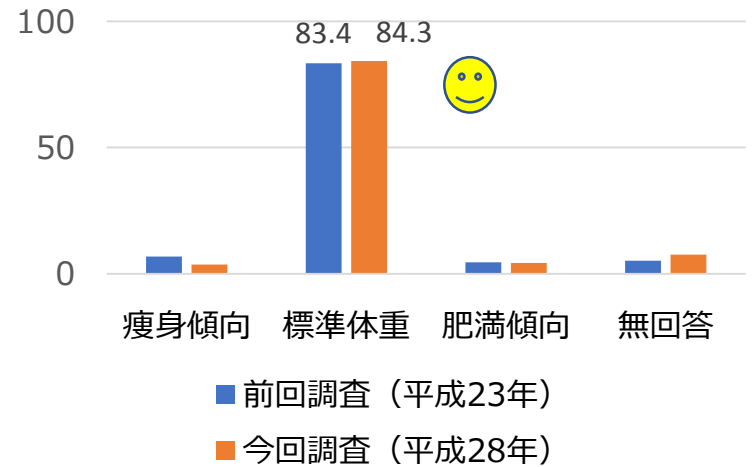
小中学生 肥満度

▶ 男女各年代で「適正（標準）体重」の子供の比率は増加した。

小学校4年生（男子）



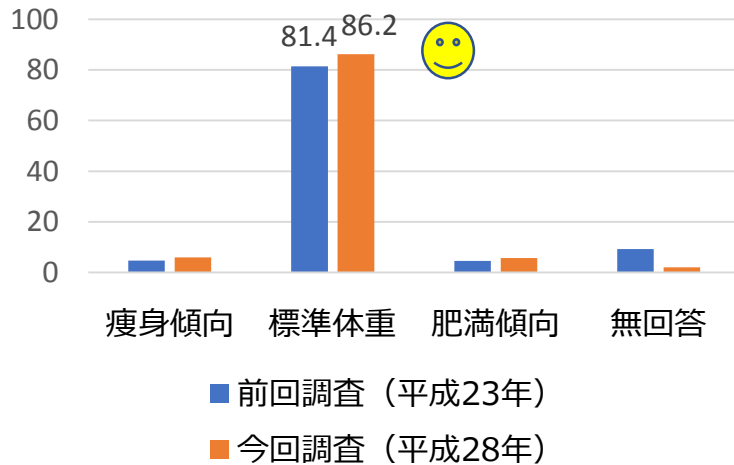
小学校4年生（女子）



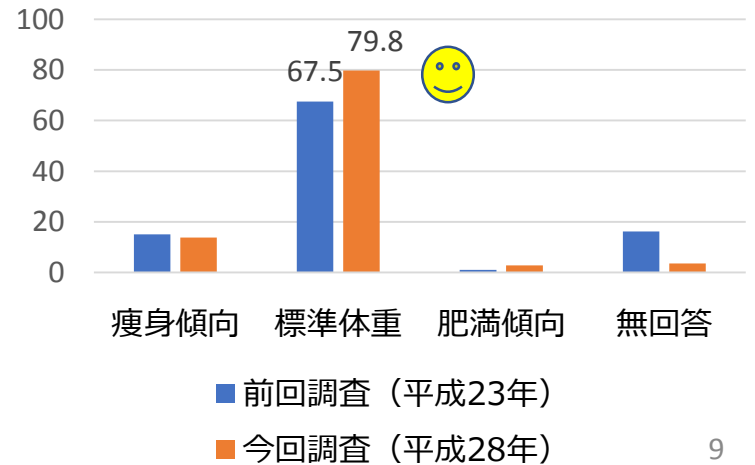
$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) \div \text{身長別標準体重} \times 100$$

+20以上 : 肥満傾向 / -20以下 : 痩身傾向

中学校1年生（男子）



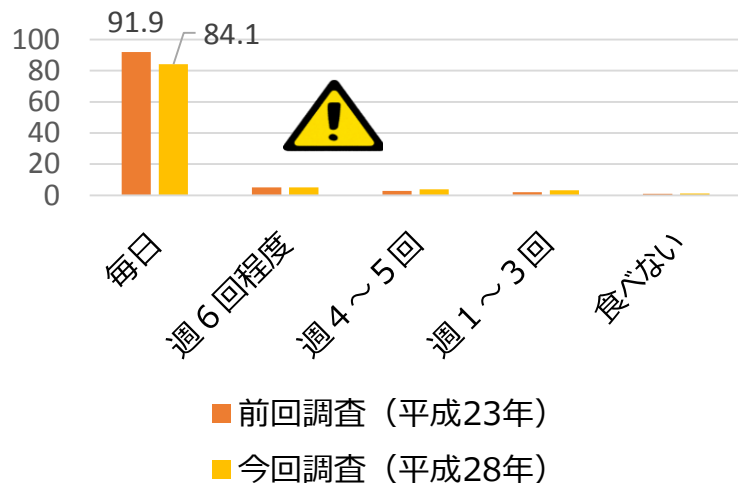
中学校1年生（女子）



朝食摂取状況

➤ 朝食摂取率は、5年前の調査と比較し、
 中学1年生男子を除き、いずれも低下。

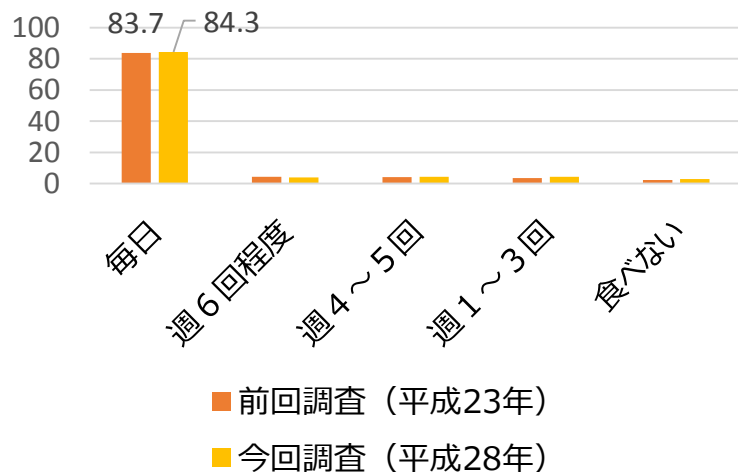
小学校4年生（男子）



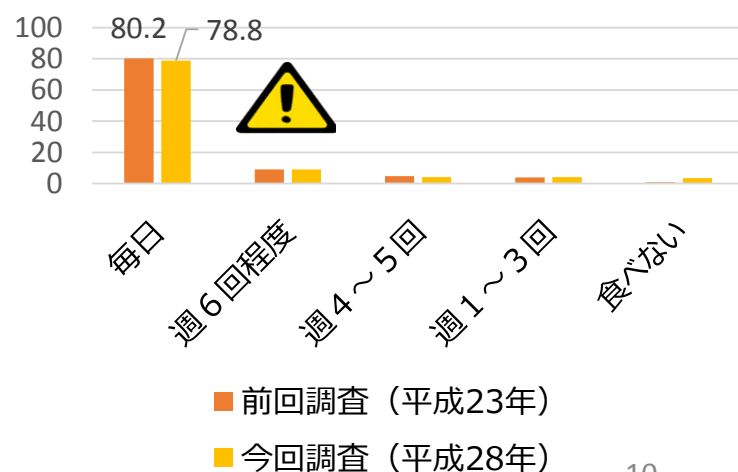
小学校4年生（女子）



中学校1年生（男子）

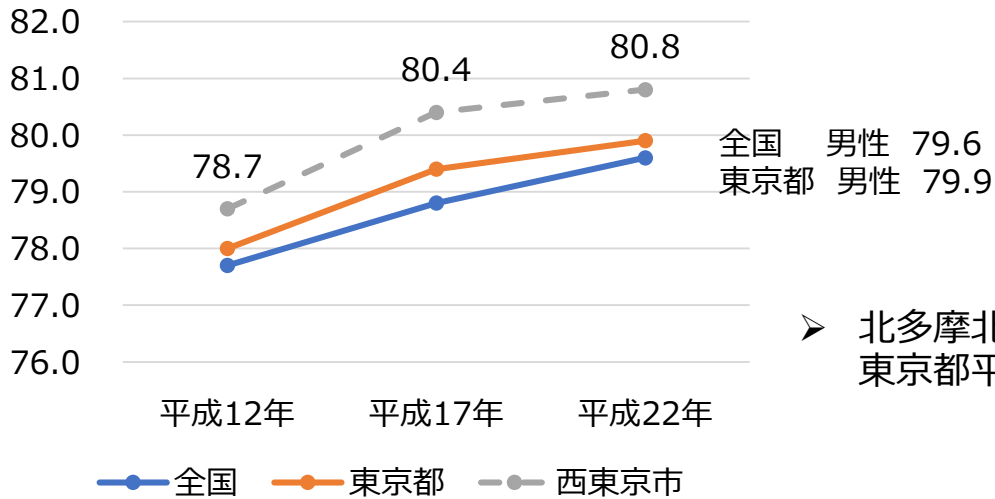


中学校1年生（女子）



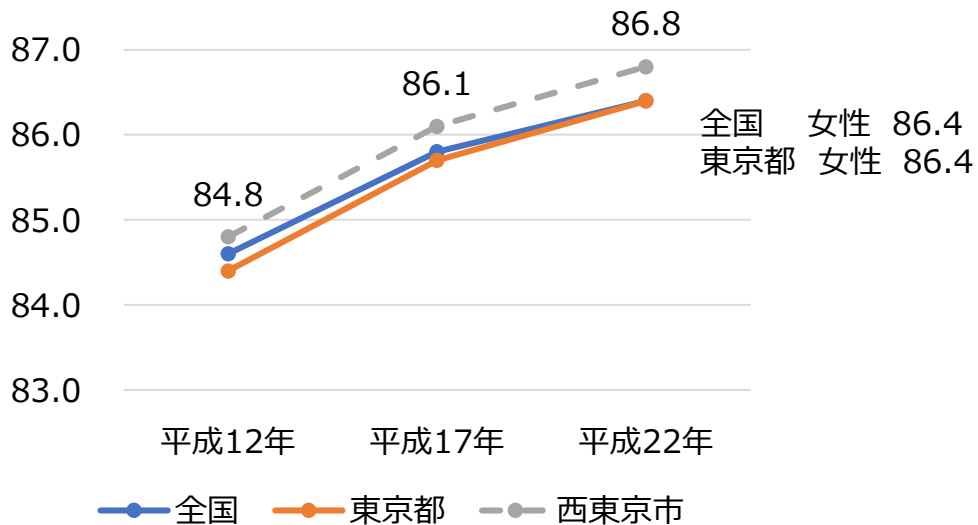
健康長寿

平均寿命 男性



➤ 北多摩北部では、東村山市男性を除き、男女とも全国、東京都平均を上回っている。

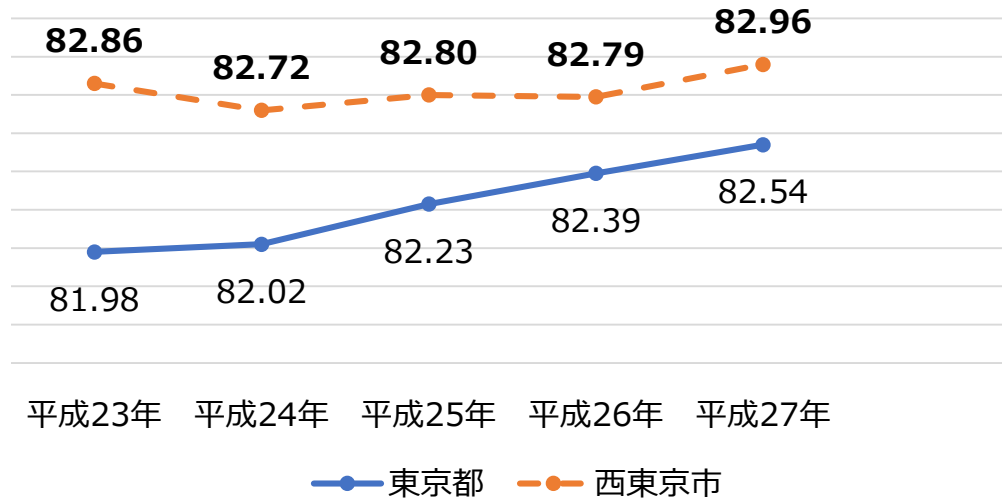
平均寿命 女性



健康寿命の延伸

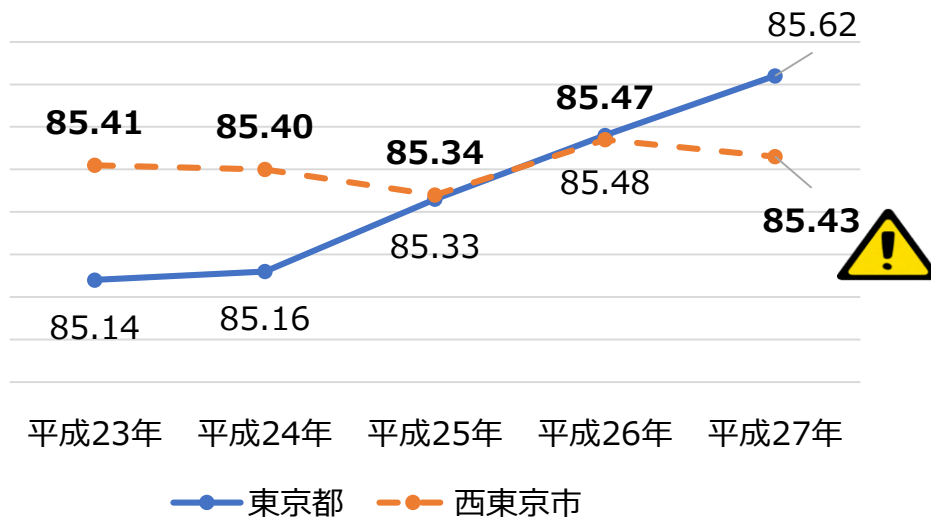
「65歳健康寿命」…65歳の人何らかの障害のために要介護認定を受ける年齢を平均的に表したもの

65歳健康寿命 男性（要介護2以上）



- 男性 要介護2以上の認定を受ける年齢の平均は82.96歳である。
- ほぼ横ばいであるが、平成27年は0.17ポイントのアップ

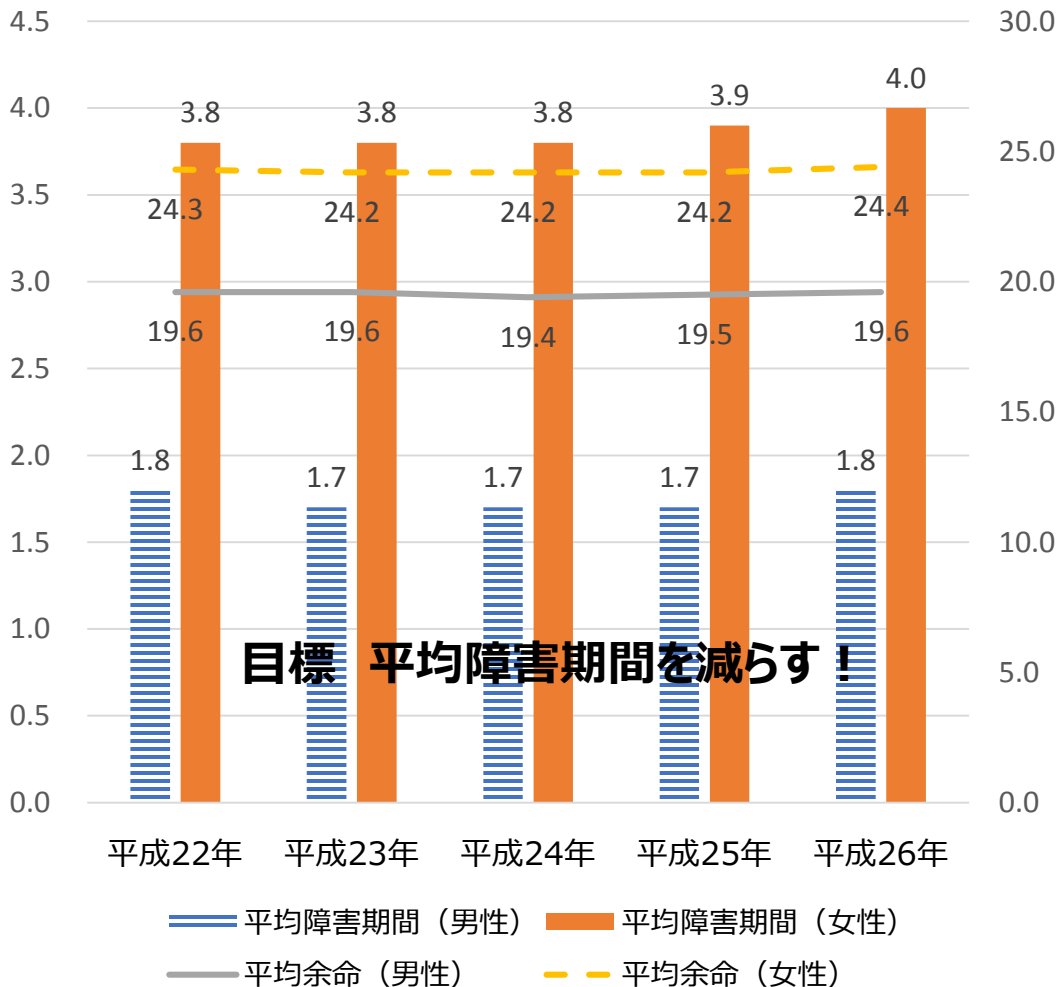
65歳健康寿命 女性（要介護2以上）



- 女性 要介護2以上の認定を受ける年齢の平均は、85.43歳である。
- 平成26年以降、東京都平均を下回っている。
- 平成27年は、西東京市0.04ポイントのダウン



(年) 65歳平均余命・平均障害期間 (要介護2以上) (年)
西東京市

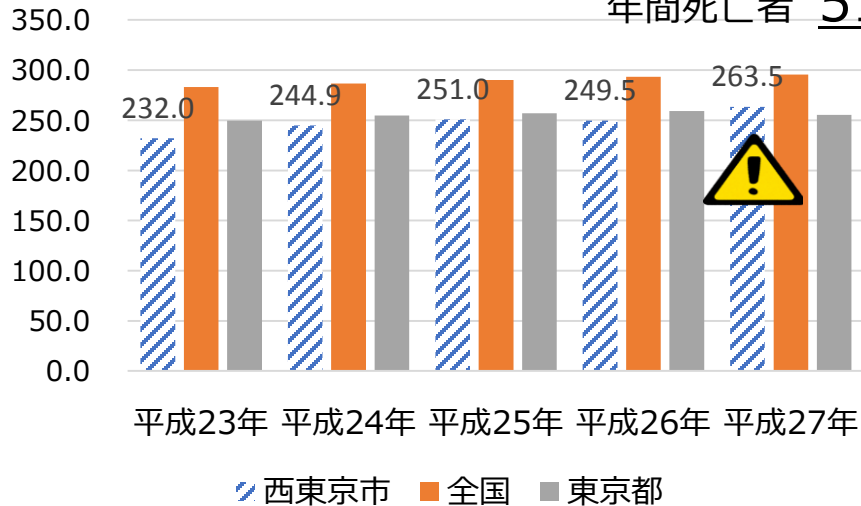


65歳平均余命 = 65歳平均自立期間 + 65歳平均障害期間 (年)

- 平成26年の平均余命は、男性 19.6年、女性24.4年である。
- 現在、65歳の人々が、その後、平均して男性で19.6年、女性で24.4年の余命があるということ。
- この余命期間のうち、男性で1.8年、女性が4.0年が介護等を必要とする期間となる（平均障害期間）。
- この障害期間をなるべく短くし、介護なく自立して生存できる期間を長くする取り組みが必要である。
- 平均余命は、平成22年以降、男女ともほぼ横ばいの傾向
- 平均障害期間もほぼ横ばいの状況が続いている。
- 北多摩北部圏域の平均と比較すると、平均障害期間は、男性0.1、女性で0.4ポイント上回っている（障害のある期間が長いということ）。

悪性新生物

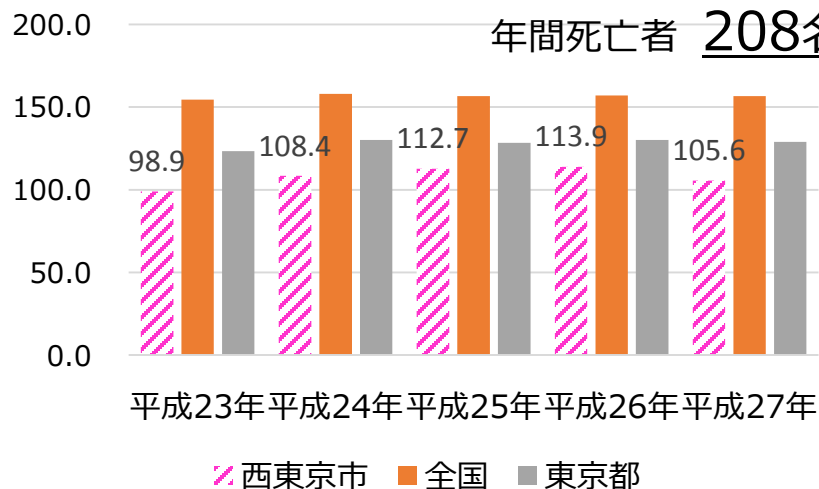
年間死亡者 **519名**（平成27年）



- 平成27年の悪性新生物の死亡率は、対前年14ポイントのアップ
- 全国平均を下回るが、東京都平均を上回る状況となっている。
- ただし、75歳年齢調整死亡率は、男女いずれも東京都平均を下回っている。

心疾患

年間死亡者 **208名**（平成27年）

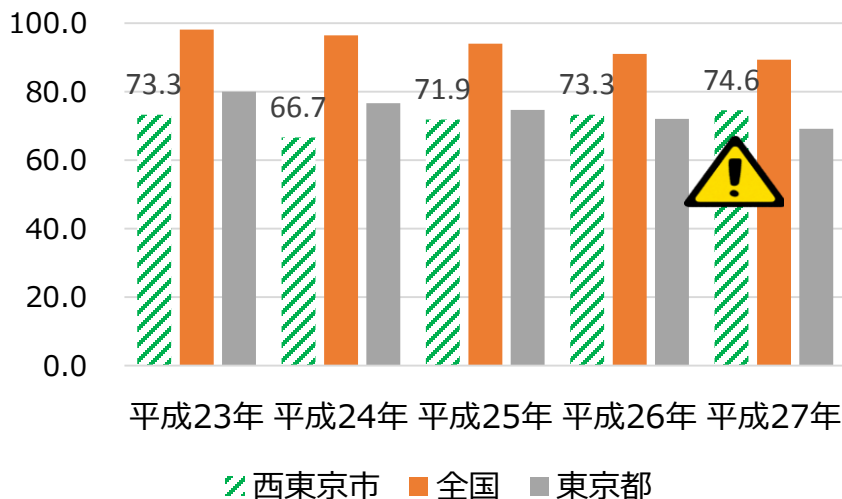


- 平成27年の心疾患の死亡率は、対前年8.3ポイントのダウン
- 全国・東京都の平均をいずれも下回っている。

脳血管疾患

単位 人口10万対

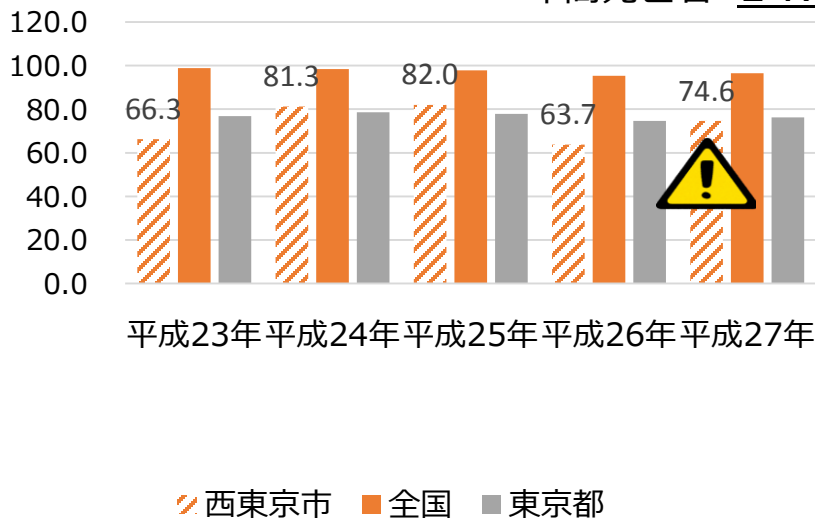
年間死亡者 147名 (平成27年)



- 平成27年の脳血管疾患の死亡率は、対前年1.3ポイントのアップ
- 全国平均を下回るが、東京都平均を上回る状況となっている。
- 平成24年より死亡率増加傾向

肺炎

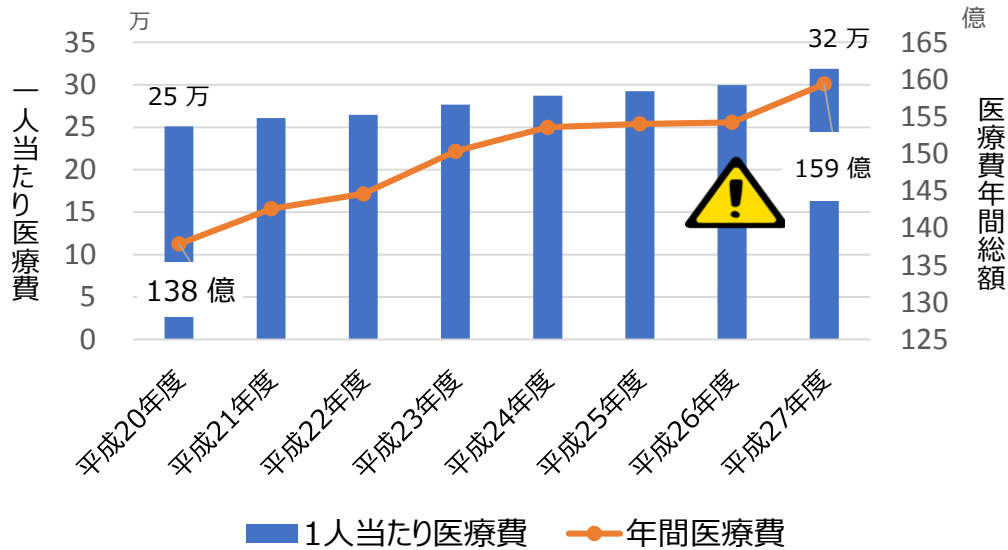
年間死亡者 147名 (平成27年)



- 平成27年の肺炎の死亡率は、対前年10.9ポイントのアップ
- 全国・東京都の平均をいずれも下回っている。
- 平成24・25年当時と比較し、死亡率は減少しているものの、平成27年は、増加に転じた。

国民健康保険 医療・介護費用

西東京市国民健康保険 療養諸費推移

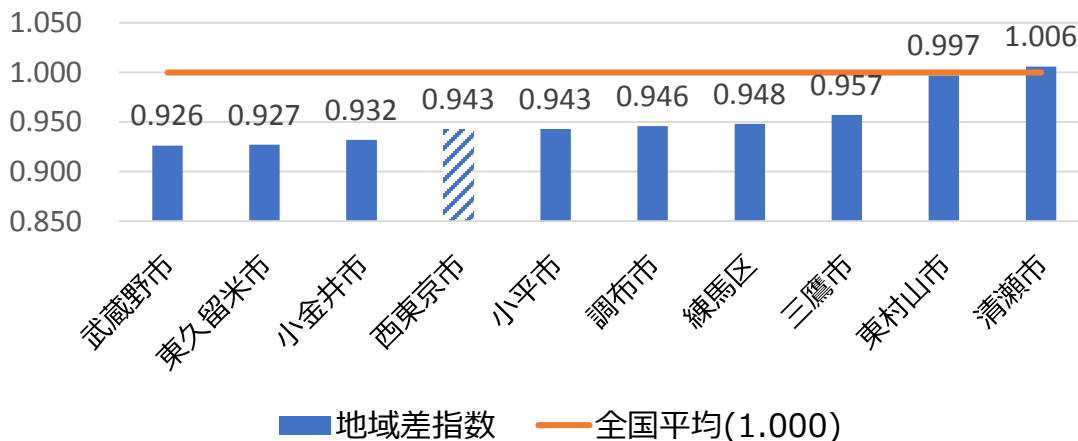


出典 西東京市保険年金課資料

- 国保ベースの医療費は、平成20年度と比較し、15%の増
- 一人あたりの医療費も、平成20年度「25万円」から平成27年度は「32万円」、7万円の増となった。

国民健康保険 一人当たり医療給付費

(地域差指数 3か年平均 平成24-26年)



出典 厚生労働省「医療費マップ」

地域差指数…医療費の地域差を表す指標として、一人当たり医療費について、人口の年齢構成の相違分を補正し、全国平均を1として指数化したもの。